

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(1)家庭への支援

細 施 策	①家庭教育の支援			担当課	担当課評価
				地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の親や小・中学校、高等学校の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。 ・身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。 				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数 227回、延べ参加者数6,501人) ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:107人) ・保育園家庭教育講座:19回(参加者数:458人) ・幼稚園家庭教育講座:5回(参加者数:190人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:111人) ・親の学習講座:26回(参加者数2,333人) ・家庭教育講座登録講師研修会:0回→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	幼保高家庭教育講座(回)	24	22	25	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
現 状 ・ 課 題	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、公立保育園・私立幼稚園、高等学校で計25回実施し、順調に進捗しています。				
改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、小中学校単位PTAへも家庭教育学級委託事業を行い、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				

細 施 策	②学童保育の充実			担当課	担当課評価
				教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労等により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 ・放課後児童支援員(学童保育指導員)の確保と資質の向上に努めます。 				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。 ・指導員の確保については、より働きやすい勤務条件を関係課と協議していきます。 				
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,911人でした。(全児童に占める割合は16%、入室を待機している児童はいない) ・狭隘化対応として大東西学童保育室他6室の増室を行いました。また、高階北学童保育室及び高階西学童保育室のトイレの改修工事を行いました。 ・学童保育指導員37名が放課後児童支援員認定資格研修を受講しました。 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	年度当初の入室児童数(人)	2,617	2,708	2,911	
	学童保育室施設設備等の工事、修繕数(件)	140	142	106	
	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	45	37	37	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育室については、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れるために、余裕教室の転用等を行い、児童の放課後等の居場所確保を図っています。 ・令和2年度から各学童保育室に正規職員を配置することとなりました。 ・入室児童数は増加傾向にあり、受け入れに必要な保育場所及び放課後児童支援員等の確保について課題があります。 				
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。 ・放課後児童支援員等の募集方法等を工夫し、より働きやすい勤務条件を関係課と協議するなど、放課後児童支援員等の確保に努めます。 				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 学識 意見	<p>・家庭教育学級の参加人数が年々減少している。今後、講座をどうしていくかが課題である。</p> <p>・学童保育については、土・日に働いたり、今後、リモートで働く業種も出てくると思うので、そのときの状況や時代に合わせて、幅広い柔軟な対応をできるようにしていただきたい。</p>				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	①学校・家庭・地域の連携推進							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の連携・協働により、地域ぐるみの教育の充実に努めます。 ・地域の特色を生かした体験活動と学校応援団活動の充実に努めます。 ・子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上に努めます。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めます。 								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、子どもたちの実態に即するよう、学校と地域がより多くの情報を共有し、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。 ・学校応援団活動については、各地区における活動について、サポート委員会同士の認知を深め活動の幅を広げることで、より多くの学校の要望に応えられるよう、活動の更なる充実に向けて支援していきます。 ・各地区サポート委員の人材発掘については、各種団体との連携・協働の中で、委員会への加入についての働きかけを支援していきます。 ・各地区サポート委員の人材育成については、1～3年目の委員に対し、ステップアップ講座でサポート委員としての資質向上を図ります。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めるため、令和元年度、小学校1校での試行的実施に取り組みます。 								
令 和 元 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数136件(延べ参加者数14,095人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数2,056件(延べ参加者数21,443人) ・子どもサポート委員会開催数106回(延べ参加者数2,152人) 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 子どもサポート事業への参加者数				【説明】 市内14地区の子どもサポート事業への参加者数				
指 標 の 推 移	単 位	基 準 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (R2)	
	人	32,935	H27 41,765	H28 50,841	H29 43,368	H30 40,989	R1 37,690	R2 33,330	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数については、夏の酷暑、秋の台風、冬の感染症と自然災害が猛威を振るう中で、複数の事業が中止となりました。しかし、そのような状況の中でも、各地区が学校と連携し、子ども達の実態に即して活動内容の改善を行っていることにより、目標を上回り、順調に進捗しています。 ・学校応援団活動については、学校の要望を受けた各サポート委員会で活動の内容も充実し、順調に進捗しています。 ・各地区サポート委員の人材発掘・育成が課題となっています。 								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区サポート委員の人材発掘については、各種団体との連携・協働の中で、委員会への加入についての働きかけを支援していきます。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めるため、令和2年度、小学校1校、公民館1館での試行的実施に取り組みます。 								

細 施 策	②社会教育関係団体への支援							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	子どもたちの学びや体験活動の充実に図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 								
令 和 元 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA:広報紙「P連かわごえ」年3回発行(7月、12月、3月)。広報紙コンクール開催。PTA講演会開催。PTA研究集会開催。 ・市子連:広報誌「ひろば」年2回発行(6月、12月)。川越市子ども会かるた大会開催。ジュニアリーダーズクール年5回開催。育成者研修会年2回開催。県外視察研修開催。 								
成 果 実 績	項 目 名 (単 位)		H29	H30	R1				
	川越市PTA講演会参加者数(人)		236	336	244				
川越市ジュニアリーダーズクラブの登録者数(人)		403	365	368					
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会事業は、計画どおり実施されており、順調に進捗しています。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会事業はおおむね計画どおり実施されており、順調に進捗しています。 								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上
 【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援							担当課	担当課評価
								中央公民館	B
施 策 の 内 容	町内(字町)公民館講座や公民館登録グループの公開講座等の開設を支援するとともに、各種団体との連携による活動を通じ、地域の教育活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	土日に事業を開催するなど、若い世代が参加しやすい環境づくりを行うとともに、魅力のある講座等を通じて、新たな公民館登録グループを結成していけるように取り組み、公民館登録グループの育成に努めていきます。								
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とし、町内公民館93館を支援しました。 ・247事業を実施し、延べ26,058人の参加があったものです。(うち公民館登録グループの公開講座は、100事業、延べ2,232人の参加です。) ・事務支援71団体で述べ参加者数は9,054人です。 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館登録グループの公開講座等の講座数及び参加者延べ人数				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	講座	292	H27 280	H28 237	H29 256	H30 226	R1 247	R2	300
	人	24,907	29,306	28,087	29,809	25,434	26,058		25,000
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループについて、グループ数及び構成員数が減少傾向にあります。 平成30年度 502グループ ⇒ 令和元年度 465グループ (対前年比4月1日現在 △37グループ) 事業数及び参加者数は増加傾向ですが、事業数は目標値に至っていません。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の事業を中止した影響が大きいと考えられます。 参考:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になった事業数 全て中止9事業 一部中止24事業								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな公民館登録グループが結成できるよう、新規事業を企画したり、既存の団体等をさらに支援していきます。 ・放課後の児童や生徒を受け入れていくための事業の計画やしきみづくりなども検討していきます。 参考:平成30年度の土日実施率42.5%⇒令和元年度の土日実施率43.7%								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

施 策 の 柱	(2)地域の教育力の向上				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学校・家庭・地域の連携推進	地域教育支援課	A	A	
	②社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A		
	③地域の教育活動への支援	中央公民館	B		
学 識 経 験 者 意 見 等	PTAや育成会の役員のなり手や、子どもサポート委員の人材発掘など厳しい状況である。市の関係部署でも連携して委員等の支援をしていただきたい。				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(1)生涯学習を推進する基礎づくり

細 施 策	①生涯学習を推進するための体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい「市民活動・生涯学習施設」の充実に努めます。 ・市民の生涯学習活動を支援する職員の意識啓発や資質を高めるための研修を実施します。 ・協働に関する研修を実施し、市民と行政が連携した事業の推進を図ります。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、生涯学習講座の充実に図ることにより生涯学習の裾野を広げるとともに、施設稼働率の向上に努めます。 ②他の事業と共同で実施するなど、調整を図りながら、公民館職員研修を充実させていきます。 ③研修の実施内容を工夫し、毎年、異なる職員を受講者にするなど、市職員全体に協働の意識を高めていけるものにする必要があります。 					
令 和 元 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> ①「市民活動・生涯学習施設」において、指定管理者による提案事業講座を約360時間実施しました(新型コロナウイルス感染症の影響で約40時間中止)。また、施設の利用状況については、稼働率は前年度より上昇し、利用人数についても、約2,300人増加しました。 ②基本法令及び公民館の事業計画を学ぶための公民館職員研修会を4回開催しました(参加者37名)。うち、第4回目の研修は、ボランティア養成講座と兼ねて実施したものです。 ③市民活動団体の活動内容を聞く場として、公開事業報告会と合同で実施しました(参加者64名)。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	市民活動・生涯学習施設平均稼働率(%)	61.4	65.8	66.5		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ①講座受講者数、施設稼働率ともに、順調に推移しています。 ②公民館職員研修会は、参加者数が少ないことから、対象となる職員が参加しやすい環境づくりが必要です。 ③協働に関する職員研修を公開事業報告会と同時に行い好評を得ました。実際にどのような活動を行っているか市職員が見ることで、協働の意識向上を図ることができました。 					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、生涯学習講座の内容の更なる充実に図り、より多くの市民が利用する施設となるよう、引き続き稼働率の向上に努めます。 ②事業を効果的かつ効率的に実施するため、他課の類似研修との共催化を検討します。また、令和元年度は、第5回目が新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、魅力的な講座企画を行うための研修を新設しましたので、引き続き内容の充実にも努めます。 ③研修の実施内容を工夫し、市民団体と交流する場を持つことによって、行政側も協働の意識を高めていけるものにする必要があります。 					

細 施 策	②市民参加の体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の情報交換や相互交流を充実させ、行政の事業等に参加しやすい体制の充実に努めます。 ・市民と行政との協働を効果的に達成するため、「協働推進事業制度」を積極的に推進します。 ・地域活動を推進する人材の発掘に努めます。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ①令和元年度からは、公民館事業を客観的に評価するためのしくみづくりを公民館運営協力委員会等において、検討していきます。 ②補助金の募集スケジュール等の要件を見直し、1年の早い時期から事業に取り組めるようにするとともに、市民活動団体等への広報に努めます。 ③市民講師(主宰者)募集については、広報誌への掲載の他、HP、メール配信、ツイッター、ポスター等の広報活動の充実に努めます。 					
令 和 元 年 度 績	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会を延べ21回実施しました(延べ187名の参加)。 ②市民活動団体等から提案のあった11事業に対し、川越市協働事業審査委員会にて審査を行い、補助金を交付しました。 ③市民講師(主宰者)による市民講座を、前期26講座、後期21講座の計47講座実施しました。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	提案型協働事業補助金応募件数(件)	12	8	11		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会は、公民館利用団体等の情報交換の場としてのみとなっています。 ②補助金の募集開始を早め、募集スケジュールを見直しましたが、応募件数の更なる増加に向けた取り組みが必要です。 ③市民講座は、実施件数が平成30年度の49講座から2講座減少しており、講座の主宰者数の増加に向けた取り組みが必要です。 					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会において、各公民館事業に関して、計画・実施・評価・改善を行っていくためのしくみづくりを検討していきます。 ②情報誌の紙面及び広報の拡充を図り、協働事業の魅力を広く市民に伝え、事業への参加意向の掘り起こしに努めます。 ③市民講師(主宰者)募集については、様々な媒体による広報の充実に図り、講座の主宰者数の増加に努めます。 					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(1)生涯学習を推進する基礎づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習を推進するための体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B	B	B
	②市民参加の体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B		
学識経験者等 意見	<p>・生涯学習を推進するための体制を充実させるためには、教育委員会の中に生涯学習推進課のような組織を設置して、公民館等の社会教育施設との協力を進める必要があると考える。</p> <p>・協働事業については、参加しづらい雰囲気があるのかもしれないので、隠れているものをどうやって掘り起こすかということも検討していただきたい。</p> <p>・公民館職員の研修については、人員体制などの構造的な問題により参加者数が少なくなっているようなので、やり方を工夫していく必要があると考える。</p> <p>・市民参加の体制を充実させるために、市職員も市民活動をする機会が持てるような仕組みを検討していただきたい。</p> <p>・市民の方の公民館離れや、利用者の高齢化が進んでいる。そのような中で、館長が2、3年で異動してしまい、市民団体との意思疎通を図るのが難しい状況があるので、異動の年数を考えていただきたい。</p>				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(2)市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実

細 施 策	①学習ニーズの把握			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	A
施策の内容	市民意識調査や講座受講後の満足度調査等、各種アンケート等の調査活動を実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。				
前年度の改善の方策等	市民の学習ニーズを把握するため、アンケートの回収率をあげるよう努めます。また、生涯学習に関する市民の意識や実態等を把握する意識調査を実施し、次期川越市生涯学習基本計画策定のための基礎資料とします。				
令和元年度実績	川越大学間連携講座を実施した3大学において、受講生に対しアンケートを(回収率97.26%)、高校生小説大賞関連事業「小説の書き方講座」においても、同様に受講生を対象にアンケートを実施しました(回収率83.33%)。また、第四次川越市生涯学習基本計画策定の基礎資料とするための意識調査を実施しました(回収率44.6%)。				
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	アンケート調査実施回数(回)	5	5	5	
現状・課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため川越大学間連携講座を1回中止としたことに伴い、アンケート実施回数も1回減少しましたが、回収率は、昨年度より4.87%増加し順調に進捗しています。アンケート結果は、次回講座の参考となるよう講座を実施した各大学や講師にも情報提供しています。 なお、第四次川越市生涯学習基本計画策定のための意識調査を実施したことから、アンケート調査実施回数の総合計は前年度と同じ5回となりました。				
改善の方策等	川越大学間連携講座の受講生に対するアンケートを引き続き実施するとともに、市民講座でもアンケートを実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。				

細 施 策	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	A
施策の内容	生涯学習情報誌「マナビイガイド」の発行や、ホームページやSNS等を活用した情報提供を行います。				
前年度の改善の方策等	「マナビイガイド」に情報を掲載している公共施設等のうち、配布物の設置場所がない等の理由により設置していない施設(保育園等)があるため、配布への協力を依頼し、配布箇所数の増加に努めます。				
令和元年度実績	「マナビイガイド」は、年間11回発行(新型コロナウイルス感染症の影響により掲載する情報が大幅に減少したため1回休刊)し、文化芸術振興課や市内公共施設に設置しました。また、川越市公式ホームページに掲載するとともに川越市ツイッター公式アカウントで、毎月新号の発行を周知しました。				
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	生涯学習情報誌マナビイガイド配布箇所数(箇所)	47	50	50	
現状・課題	配布箇所数の成果実績について、新規に保育園には配布できなかったものの、地域包括支援センターに打診して配布する予定でしたが、その後新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載できる情報が大幅に減少し休刊となったため、現状では昨年と同様50箇所への配布に留まりました。				
改善の方策等	「マナビイガイド」について、新型コロナウイルス感染症の影響により休刊となったことから、より効果的な情報提供について検討します。また、ホームページやSNS、さらにメール配信サービスにより情報発信し、生涯学習情報の幅広い提供に努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学習ニーズの把握	文化芸術振興課	A	A	A
	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	マナビガイドを市のホームページで見ると、どこにあるか分かりづらい。もう少し市民が利用しやすいように工夫していただきたい。				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(3)社会の変化に応じた学習機会の提供

細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。					
前年度の改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していきます。 また、興味の持ちやすいテーマを継続的に開催し、共通の目的を持った市民が交流することで、講座をきっかけとしたグループ活動を促すよう、努めていきます。					
令和元年度実績	全公民館で171事業1,051回実施し、延べ31,476人の参加がありました。					
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	ライフステージにおける課題の学習の公民館主催事業参加者数	36,550	34,293	31,476		
現状・課題	事業数は増加(163⇒171)しているものの参加者数について減少しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の事業を中止した影響が大きいと考えられます。また、高齢者教育(15,520⇒14,387)及び家庭教育(9,624⇒7,721)において参加者数の減少傾向が見られます。 参考:新型コロナウイルス感染症予防のため、中止になった事業数 全て中止9事業 一部中止42事業					
改善の方策等	高齢者や子育て世代だけでなく、夏休みなどの長期休暇等に実施している青少年教育にも力を入れていきたいと考えています。					

細 施 策	②現代的課題の学習							担当課	担当課評価
								中央公民館	B
施策の内容	社会的に要請されている環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。								
前年度の改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していきます。 新規で情報学習において、インターネット講座、中級講座、スマホ講座を実施するなど魅力のある事業を企画するとともに、気軽に参加しやすい講座をとおして、より多くの人が参加できるように努めていきます。								
令和元年度実績	全公民館で130事業340回実施し、延べ7,474人の参加がありました。前年度の改善に挙げたとおり、情報学習について、新規講座としてインターネット、中級講座(11講座)などを実施しました。								
指標・説明	【指標】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者延べ人数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	講座	128	130	103	107	128	130		
	人	20,152	17,963	7,609	7,220	8,308	7,474	21,000	
現状・課題	事業数は増加したものの参加者数について減少しています。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の事業を中止した影響が大きいと考えられます。さらに、地域課題解決のための講座など新たな分野にも取り組んでいくことが望まれます。 参考:新型コロナウイルス感染症予防のため、中止になった事業数 全て中止8事業 一部中止6事業								
改善の方策等	新規の講座等を実施し、新たな公民館利用者の参加を促すとともに、より多くの人が参加できるようしくみづくりを構築していきます。								

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	B	B	B
	②現代的課題の学習	中央公民館	B		
学識経験者等	<p>市民センターでは、窓口業務と、公民館事業を企画するような業務と、全く性格が違ふ業務を兼務で行っているが、公民館業務は職員のスキルが必要である。担当制を敷いて、公民館業務に専念できるような体制で進めていただきたい。</p>				

細 施 策	①人権教育の充実				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	・人権教育の一環として、児童生徒による人権作文・人権標語・人権絵画の取組を通して人権意識の高揚に努めます。 ・人権教育推進事業を公民館・小学校・中学校に委嘱するとともに、人権教育実践報告会やPTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を実施し、同和問題などの人権問題の解決を目指します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					
令 和 元 年 度 績 実	・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に」の開催 3日間270人 ・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人 ・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	812	772	755		
	委嘱小・中学校数(校)	11	11	11		
現 状 ・ 課 題	・人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。 ・「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					

細 施 策	②人権啓発資料の活用				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	各種人権啓発資料を作成するとともに、児童生徒をはじめ市民に配布することで人権意識の高揚に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					
令 和 元 年 度 績 実	・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催 ・人権文集「あけぼの」発行 3,150部 ・人権カレンダー発行 40,000部 ・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回) 30,000部					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会参加者数(人)	238	237	240		
	人権カレンダー発行(部)	40,000	40,000	40,000		
現 状 ・ 課 題	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会では、障害者の人権に関わる活発な意見交換がなされました。また、人権教育啓発資料は、児童生徒に対し学校の授業で、保護者に対してはPTA家庭教育学級で、そして一般の市民の方に対しては、公民館の人権教育指導者養成講座で、それぞれ活用しています。					
改 善 の 方 策 等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					

細 施 策	③人権教育指導者の養成				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	家庭や職場、地域社会における人権問題の解決を目指して、PTA家庭教育学級の人権教育講座や公民館の人権教育指導者養成講座を開催し、身近な人権教育指導者の養成を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域における人権教育活動団体の教育事業、啓発活動等を支援・連携していきます。					
令 和 元 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(18公民館で実施 92講座 参加者3,732数人) ・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数169人) 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	3,504	3,692	3,732		
	小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座参加者数	178	175	169		
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループの公開講座等を積極的に展開していますが、登録グループ数そのものが減少傾向となっています。また、講座数や参加者数は前年度と比較すると増加しています。1講座の平均参加者数が約41人となっていることから、当課で想定している1講座平均30人を上回っています。					
改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域における人権教育活動団体の教育事業、啓発活動等を支援・連携していきます。					

細 施 策	④関係機関・団体等との連携				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					
令 和 元 年 度 実 績	集会所事業として、青少年を対象に習字教室、フレンドスクールを実施(参加人数1,507人)。成人対象で指導者養成講座、成人学習講座等を実施(参加人数94人)。女性対象で女性講座を実施(参加人数85人)。高齢者対象で高齢者学級講座を実施(参加人数131人)。集会所事業の成果発表の場としての集会所ふれあいまつり開催(参加人数284人)。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	集会所事業 講座・教室参加者数(人)	2,634	2,700	2,363		
	ふれあいまつり参加者数(人)	314	318	284		
現 状 ・ 課 題	小堤集会所におけるフレンドスクール事業は、多くの子どもたちの参加があり、順調に進捗しています。年度末は新型コロナウイルス感染症の影響により最終回はできなかったため、全体の人数が例年に比べ減少しましたが、実施した事業における参加者人数は昨年度と同様です。さらに、各講座では参加者の固定化、高齢化が目立ち参加者数は、ほぼ横ばいでした。					
改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権施策の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人権教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②人権啓発資料の活用	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	A		
学識経験者等 意見	なし				

細 施 策	①公民館の設置				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ関北公民館整備推進については、建設検討懇話会の提言書を尊重し、地域住民のご意見を伺いながら、公民館移転に向けて庁内で検討を進めます。また、建築設計等に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めます。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めます。 					
令 和 元 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ関北公民館整備推進については、地域住民等のご意見を伺いながら、公民館移転に向けて庁内で検討を行いました。また、建設予定地の安全管理に努めました。 ・(仮称)西公民館建設推進については、関係自治会役員に対し、現状の説明を行いました。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	設計業務委託契約の本数(件)	—	—	—		
	建設工事請負契約の本数(件)	3	4	—		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ関北公民館整備推進：平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されており、令和2年度は、基本構想の策定及び地質調査を実施する予定です。 ※移転予定地には、現在、応急仮設住宅が設置されています。 ・(仮称)西公民館建設推進：平成26年6月に検討懇話会から提言書が提出されていますが、進展がありません。 					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ関北公民館整備推進については、建設検討懇話会の提言書を尊重し、地域住民のご意見を伺いながら、公民館移転に向けて庁内で検討を進めるとともに、基本構想の策定及び地質調査を実施します。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めます。 					

細 施 策	②既存公民館の整備・運営				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施 策 の 内 容	既存の公民館については、大規模改修工事等を計画的に実施し、利用しやすい学習施設となるよう整備運営に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	令和2年度改訂予定の公共施設等総合管理計画及び同年度策定予定の「公民館等における個別施設計画」に基づき、計画的かつ効果的に修繕や工事を実施していきます。					
令 和 元 年 度 実 績	計画修繕は、15件中11件の実施をしており、73.3%の実施率です。突発修繕は、89件実施しています。よって、104件中100件の修繕を行っており、要望件数の96.2%を実施しています。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	修繕要望件数の実施率(%)	82	84	96		
現 状 ・ 課 題	ライフラインや空調機などの突発的な修繕の対応を行っているのが現状です。					
改 善 の 方 策 等	令和2年度改訂の公共施設等総合管理計画及び同年度策定の「公民館等における個別施設計画」に基づき、計画的かつ効果的に修繕や工事を実施していきます。					

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(5) 身近な学習施設の整備・運営			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・運営	中央公民館	B		
学識経験者等	霞ヶ関北公民館の整備推進については、提言書が出されたのが平成25年であり、登録グループなども変わっているため、改めて意見を聞きながら進めていただきたい。				

細 施 策	①図書館サービスの充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	C
施策の内容	市民のさまざまなニーズに対応した図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスに努めます。								
前年度の改善の方策等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、本・雑誌・AV(視聴覚)資料の貸し出しを1,536,555冊行いました。 障害者サービスでは、特別展示を行いPRに努め、録音図書(1,703タイトル)や点字図書(50タイトル)の貸し出しを行いました。また、心身等の障害がある方への郵送サービスでは、図書等(68点)の貸し出しを行いました。 レファレンスサービスでは、図書や情報の支援を年度合計4,647件(中央図書館)提供しました。 								
指標及び説明	【指標】 図書館の貸出冊数				【説明】 市立図書館の本・雑誌・AV資料の貸出総数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	1,845,426	H27 1,848,799	H28 1,803,754	H29 1,758,562	H30 1,742,996	R1 1,536,555	R2 1,950,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数の実績値が、平成30年度実績値に対して、約11.2%減となっています。図書館システム更新による休館や、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館の影響もありますが、進捗はあまり順調ではありません。 録音図書は、平成30年度(2,173タイトル)と比較して約21%、点字図書は、平成30年度(56タイトル)と比較して約13%、郵送サービスは、平成30年度(78点)と比較して約13%と、それぞれ減っています。 								
改善の方策等	市民の様々なニーズに対応した、多角的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								

細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民要望に応えるため、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる各分野の資料収集に努めます。 市民の学習・研究活動支援の充実を図るため、他の図書館等との連携や情報の提供サービス機能の充実に努めます。 								
前年度の改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充する方策を検討していきます。								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書数は中央図書館495,422冊、西図書館180,760冊、川越駅東口図書館73,153冊、高階図書館120,189冊で、4館合計869,524冊です。 図書館システムを変更したことにより、8点の郷土資料をデジタルアーカイブで公開しました。 収蔵能力を拡充するために、資料の保管委託について調査しました。 								
指標及び説明	【指標】 図書館の蔵書数				【説明】 市立図書館の蔵書総数(視聴覚資料含むが、新聞・雑誌は除外)				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	836,315	H27 843,893	H28 852,908	H29 858,306	H30 864,689	R1 869,524	R2 860,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度実績は、869,524冊で、目標値を達成しており、順調に進捗しています。 蔵書数が中央図書館の収蔵能力を超えているため、保存すべき資料を見極め、適切な除籍等を進めるとともに、新たな収蔵場所の確保も必要です。 デジタルアーカイブで公開する郷土資料の点数を増やす必要があります。 								
改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充する方策を更に検討していきます。また、デジタルアーカイブの公開点数を増やしていきます。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(6)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進		担当課		担当課評価			
			中央図書館		A			
施 策 の 内 容	幅広い世代で構成される市民の、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。							
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。							
令 和 元 年 度 績 実	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、バリアフリー映画会等を開催しました。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の事業開催回数			【説明】 各種おはなし会や講演会など市立図書館が主催する図書館を活用した事業の開催回数				
	指 標 の 推 移	単 位	基 準 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (R2)
	回	456	H27 472	H28 479	H29 501	H30 509	R1 468	R2 470
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、バリアフリー映画会等を開催し、順調に進捗しています。 ・昨年度より実績値が減少していますが、図書館システム更新による休館や新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館が影響しています。 							
改 善 の 方 策 等	引き続き、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。							

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】2 生涯学習活動の推進

施 策 の 柱	(6)市立図書館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービスの充実	中央図書館	C	A	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数が減るのは時代の流れであり、次期計画では指標を見直す必要があると考える。 ・図書館の役割が変わってきていると思うので、蔵書数を増やすだけでなく、蔵書を使って何をするかという方向を考えたほうがよいと考える。 				A

細 施 策	①展示機能の充実							担当課	担当課評価
								博物館	C
施策の内容	常設展示の見直しを検討し、新たな学術的成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討していくとともに、短期的に実現可能な展示資料の入れ替えを継続的に行っていきます。 今後も展示室の改修に向けての準備作業を行うとともに、来館者の誘致に向けての観光導線の検討・情報発信を進めます。 企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。 								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 企画展示では「第29回収蔵品展 博物館のたからもの～芸芸員おすすめの収蔵資料～」令和元年度埼玉県名刀展 日本刀-五ヶ伝をめぐる-」「第47回企画展 北武蔵剣術物語～川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代～」を開催しました。また、企画展示に合わせて講演会・野外博物館教室を実施しました。 前年度の改善の方策を受け、第29回収蔵品展では、これまであまり展示されておらず、今後の常設展に反映できる資料を選定し展示しました。また、第47回企画展関連のイベントでは、観光導線の検討の基礎資料となる観光客の動向調査を実施しました。 常設展示の見直しについては、短期的に実現可能な展示資料の入れ替えを行いました。また、博物館内部で現状の把握と課題の抽出、改修案についての検討を進めました。 博物館入館者数は77,456人で前年度の89,154人と比べて11,698人減少(前年比86.8%)しています。 								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	人	98,205	H27 98,025	H28 96,516	H29 89,563	H30 89,154	R1 77,456	R2 100,000	
現状・課題	<p>令和元年度の博物館の入館者数は台風19号および新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により、前年度と比べて11,698人の減少となりました。また、3月14日(土)～5月10日(日)の会期で予定していた「第48回企画展 川越の地口行灯―力斎とうろう絵の世界―」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により年度内に公開することができませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 常設展で故障している映像機器のうち川越まつりコーナーについては修理方法を検討し、令和2年度予算に計上しましたが、他の映像機器については今後進めていく必要があります。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討するとともに、短期的に実現可能な展示資料の入れ替え・故障した映像機器の修理等を実施します。 今後も展示室の改修に向けての準備作業を行うとともに、来館者の誘致に向けての観光導線の検討・情報発信を進めます。 企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。 								

細 施 策	②郷土資料の収集・保存							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。 								
前年度の改善の方策等	貴重な郷土の歴史資料について計画的な収集に努めるとともに、効率的な保管を進めます。また、恒常的な収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を行います。								
令和元年度実績	令和元年度は寄贈資料298点を受け入れ、収蔵資料の累計は38,917点となりました。また、市民から寄贈・寄託された文書資料を整理した「笠幡発智家文書目録」「川越喜多町名主御用日記 五」、前橋市立図書館所蔵松平藩資料記録をボランティアを中心に翻刻し「川越藩松平大和守家記録 五」を刊行しました。資料収集については館内の収蔵環境を整えるため、使用頻度の低い物品・資料を旧あけぼの・ひかり児童園へ移動しました。								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	点	37,746	H27 37,816	H28 37,985	H29 38,161	H30 38,619	R1 38,917	R2 40,000	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は298点の寄贈資料を受け入れ、収蔵資料点数は着実に増加し、博物館資料の収集・保存はおおむね順調に進捗しています。 また、昨年度新たに収蔵スペースとして確保した旧あけぼの・ひかり児童園に館内の使用頻度の低い物品・資料の移動を行い、良好な収蔵環境の整備に一定の進展がありました。 								
改善の方策等	貴重な郷土の歴史資料について計画的な収集に努めるとともに、館内の収蔵環境が良好に保てるよう物品・資料の効率的な収納を進めます。また、恒常的な収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を行います。								

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化							担当課	担当課評価
								博物館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 ・小・中学校等との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの講座、教室等で参加者からの高評価をいただいておりますが、今後も講師との事前協議や担当内での検討を重ねて改善を図るとともに、市民ニーズに配慮した事業の実施にも取り組みます。 ・学校利用については、引き続き利用校との綿密な打ち合わせを実施し、要望に沿った内容での対応が取れるよう配慮していきます。 								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大人向け事業の参加者数は1,510人で満足度は97.3%、子ども向け事業は1,361人で満足度は96.8%でした。 ・教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ102校8,116人、市外延べ282校24,061人で、総計384校32,177人でした。また、市内幼稚園等として4回219人の利用がありました。 								
指標及び説明	【指標】				【説明】				
	①博物館講座・教室受講満足度 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数				①受講者アンケートにおいて「大変よかった」及び「よかった」と回答のあった割合 ②小・中学校等の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値					目標値(R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	① %	95.3	95.1	93.1	95.0	93.7	97.0	97.0	
	② 校	358	354	376	349	362	384	370	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・教室等の事業については、年度末の3月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い、予定した事業が全て中止となる事態が生じましたが、それまでの期間において改善を進めた結果、大人向け事業における満足度が前年より6.5%高くなり、全体として目標値に達することができました。また、学校利用についても、積極的な周知活動や学校の要望をくんだ利用プログラムの工夫に努めたことで近年の増加傾向を維持することができ、前年に比較して利用校が22校増加し、目標値を大きく上回りました。 ・本年度より初雁公園整備事業が始まったことから、従来のバス駐車場が利用不可となり、関係各課と調整を図りながら近隣の駐車場の確保やカリキュラムの工夫を検討するなど、今後のバス利用の学校への対応が課題です。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の事業については、引き続き参加者の満足度が高くなる内容となるよう改善を進めます。また学校利用について、学校数増加の結果となりましたが、利用時の館内混雑や一般来館者向け解説との重複などの問題が生じていることから、受け入れ時間の工夫などによりこれらの解消に努め、来館者にとって満足度の高い博物館利用となるよう取り組みます。 								

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 ・蔵造り資料館については、工事担当部署等と連携してあらためて工事契約を締結し、着実に工事を進めていきます。 								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館については、老朽化等に伴う施設修繕(常設展示室シャッター危害防止装置、燻蒸設備、非常照明用蓄電池触媒栓等)及び特別展示室空調の改修工事を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。 ・蔵造り資料館については、中断した耐震化工事の再開に向け、関係業者及び学識経験者の意見を聴取するとともに、専門的知見を有する業者に委託し、令和2年度以降の事業方針を定めました。 								
成果実績	項目名(単位)		H29	H30	R1				
	施設・設備の修繕件数(件)		8	8	5				
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館については、機能を維持するための応急的な修繕を実施してきました。施設の老朽化に伴う修繕を必要とする箇所を多く抱えている状況ですが、必要な修繕については実施されており、おおむね順調に進捗しています。 ・蔵造り資料館については、受注者の倒産に伴う工事中断という異例な状況の中、工事再開に向けた事業方針を定めることができました。事業方針に基づき、解体調査を行った上であらためて事業規模を確定する予定です。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 ・蔵造り資料館については、事業方針に基づき、工事担当部署等と連携して工事の再開を目指します。 								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(7) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	C	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	A		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者等	<p>・博物館の入館者数は減少傾向にあり、他の社会教育施設も含めて、従来やってきたことについては伸び悩んでいると考える。従来型の機能を見直して、新しいことを模索し、より市民の役に立つ施設として考えていく必要があると考える。</p> <p>・博物館のホームページについて、川越の歴史や文化をアピールするため、市のホームページだけではなく、オリジナルのホームページを検討していただきたい。</p>				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(8)高等教育機関との連携の推進

細 施 策	①高等教育機関との連携体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	・地域社会の発展と人材育成に寄与するため連携体制を整えます。 ・教育、文化、まちづくり等の分野において市内の大学等と協力します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市、大学双方で、当該年度での懸案事項を調査したうえで会議のテーマを決定し、より有益な会議となるよう、連携体制の強化や整備に努めます。					
令 和 元 年 度 績 実	川越市と大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、連携会議を開催しました。 ①川越市と東洋大学との連携会議：東洋大学教授による生涯学習に関連した事例発表(1回10課所) ②川越市と東邦音楽大学との連携会議：川越市防災危機管理室職員による発表「地域の防災における大学の役割について」(1回2課所。※台風19号の影響により中止)					
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	川越市の連携会議参加課所数(延べ)	30	8	10		
現 状 ・ 課 題	連携会議を、より実務的な意見交換の場とするため、先生方の事例発表の内容に関連の深い課所に対して参加を呼びかけたことで、参加課所数が昨年度より増加し、また、会議の場において活発な意見交換を行うことができました。					
改 善 の 方 策 等	市と大学との連携体制をより深めるために、双方の協議事項を調査、調整し、形式的な会議ではなく、より実務に即した会議を開催できるよう努めます。					

細 施 策	②共催による講座等の充実							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	市内4大学との連携により、各大学の特徴を生かした講座を開催し、高度で体系的な生涯学習の機会の拡充を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、市内4大学と連携し、アンケートの結果や大学の特徴を生かした連携講座の実施と、より多くの市民の方に受講してもらうよう広報活動の充実などに努めます。								
令 和 元 年 度 績 実	市内3大学と連携講座を実施し、122名の参加がありました。 東洋大学「一流の「脳と心」の育て方～科学と心理学が教えてくれる学習法～(5回)」受講者87人 尚美学園大学「オリンピック・パラリンピックを知る、楽しむために(3回)」受講者16人 東京国際大学「オリンピック 世界の超人パフォーマンスと日常生活比較～素朴な疑問からオリンピックアスリートを知ろう～(1回)」受講者19人 東邦音楽大学「東邦音楽大学ピアノ講座(3回)」受講者79人(※新型コロナウイルス感染症の影響により中止)								
指 標 及 び 説 明	【指標】川越大学間連携講座の受講者数				【説明】市内4大学との連携・協働による川越大学間連携講座の合計受講者数				
指 標 の 推 移	単位	基準値(H26)	実 績 値					目標値(R2)	
	人	251	H27 362	H28 193	H29 255	H30 199	R1 122	R2 280	
現 状 ・ 課 題	平成24年度から市内4大学との連携講座として実施しています。講座のテーマや、回数等によって申込み人数が変わってくるため、受講者数は毎年度増減があります。また、令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により東邦音楽大学との講座を中止したため、受講者数が大幅に減少しました。								
改 善 の 方 策 等	受講者アンケートの結果をさらに分析し、各大学の特徴と市民ニーズを踏まえた講座を実施することで、より多くの市民に受講してもらい、市民の生涯学習の機会拡充に努めます。								

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(8) 高等教育機関との連携の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①高等教育機関との連携体制の充実	文化芸術振興課	A	A	A
	②共催による講座等の充実	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見等	<p>大学との連携講座については、市民の方が訪れて、様々な学習をしていただくことに価値があるので、なるべく多くの方に来ていただけるよう、大学に対して、どういう内容のものが求められていて、どういう講座が望ましいのか、細かい指示など、市にはプロデュース的な考えが必要である。</p>				